

現状分析指標

国から提示のあった主要疾病等に関する各種指標のうち、本県における現状の分析に用いた指標をまとめたものです。

<巻末データ> 現状の分析【がん】

No.	指標名	調査名等	調査年	全国	山梨県	二次医療圏				単位	分析	
						中北	峡東	峡南	富士・東部			
1	禁煙外来を行なっている医療機関数	一般診療所(禁煙外来「有」)	医療施設調査(個票解析)	H20	8,536	79	53	11	3	12	施設	・全県では全国並み(病院・全国1.33:本県1.27、一般診療所・全国6.72:本県9.11)であり、対象施設は全医療圏に存在する。
					6.72	9.11	11.37	7.55	4.87	6.19		
2	病院(禁煙外来「有」)	医療施設調査(個票解析)	H20	1,688	11	5	2	2	2	施設		
				1.33	1.27	1.07	1.37	3.25	1.03		(人口10万対)	
3	敷地内禁煙をしている医療機関の割合	一般診療所	医療施設調査(個票解析)	H20	23.01	23.72	23.87	23.08	20.41	24.82	%	・全県では一般診療所が高い(全国23.01:本県23.72)が、病院では低い(全国26.85:本県18.33)。 ・二次医療圏では一般診療所が4圏域とも同程度である一方、病院は中北医療圏が低い(12.50)。
4		病院	医療施設調査(個票解析)	H20	26.85	18.33	12.50	21.43	33.33	25.00	%	
5	喫煙率	男性	国民生活基礎調査	H22	33.12	34.18					%	・男性は高く(全国33.12:本県34.18)、女性は低い(全国10.43:本県9.30)が、概ね全国並みである。
6		女性	国民生活基礎調査	H22	10.43	9.30					%	
7	がん検診受診率	胃がん	地域保健・健康増進事業報告	H21	10.1	13.7	13.0	13.6	20.2	13.2	%	・全県の受診率は全ての種別で全国より高く、二次医療圏では峡南医療圏が高く、富士・東部医療圏が低い。 ＜胃がん(二次医療圏)＞ ・峡南医療圏が最も高く(20.2)、他の医療圏は同程度(13.0~13.6)である。 ＜肺がん(二次医療圏)＞ ・峡南医療圏が突出して高い(69.8)一方、富士・東部医療圏が若干低い(21.9)。 ＜大腸がん(二次医療圏)＞ ・峡南医療圏が最も高く(37.9)、富士・東部医療圏が最も低い(18.0)。 ＜子宮がん(二次医療圏)＞ ・峡東医療圏(38.2)、峡南医療圏(35.7)が高いが、中北医療圏が低い(23.7)。 ＜乳がん(二次医療圏)＞ ・峡東医療圏が最も高く(32.3)、富士・東部医療圏が低い(18.6)。
8		肺がん	地域保健・健康増進事業報告	H21	17.9	31.9	29.0	37.5	69.8	21.9	%	
9		大腸がん	地域保健・健康増進事業報告	H21	16.5	22.6	22.6	22.0	37.9	18.0	%	
10		子宮がん	地域保健・健康増進事業報告	H21	21.0	27.1	23.7	38.2	35.7	25.0	%	
11		乳がん	地域保健・健康増進事業報告	H21	16.3	24.2	23.2	32.3	29.6	18.6	%	
12		胃がん	国民生活基礎調査	H22	23.9	29.0					%	
13		肺がん	国民生活基礎調査	H22	18.6	25.5					%	
14		大腸がん	国民生活基礎調査	H22	19.3	22.7					%	
15		子宮がん	国民生活基礎調査	H22	24.3	25.9					%	
16		乳がん	国民生活基礎調査	H22	21.2	29.1					%	
17	胃がん(40歳以上)	国民生活基礎調査	H22	30.1	34.3					%		
18	肺がん(40歳以上)	国民生活基礎調査	H22	23.0	29.5					%		

<巻末データ> 現状の分析【がん】

No.	指標名		調査名等	調査年	全国	山梨県	二次医療圏				単位	分析
							中北	峡東	峡南	富士・東部		
19		大腸がん(40歳以上)	国民生活基礎調査	H22	24.8	27.3					%	
20		乳がん(40歳以上)	国民生活基礎調査	H22	24.3	32.6					%	
21	年齢調整死亡率	悪性新生物(男性)	都道府県別年齢調整死亡率(業務・加工統計)	H22	182.4	174.2					人口10万対	・全国より低い(男性・全国182.4:本県174.2、女性・全国92.2:本県80.2)。
22		悪性新生物(女性)	都道府県別年齢調整死亡率(業務・加工統計)	H22	92.2	80.2					人口10万対	
23	がん診療連携拠点病院数		厚生労働省調べ	H23	388	4	3	-	-	1	施設	・未設置の峡東医療圏を市立甲府病院で、峡南医療圏を山梨大学医学部附属病院で対応している。
					0.31	0.46	0.64	-	-	0.52	(人口10万対)	
24	都道府県がん診療連携拠点病院数		厚生労働省調べ	H23	51	1	1	-	-	-	施設	・県内に1箇所しかないが、全国の総数も51箇所であるため、全国より多い(全国0.04:本県0.12)。
					0.04	0.12	0.21	-	-	-	(人口10万対)	
25	地域がん診療連携拠点病院数		厚生労働省調べ	H23	337	3	2	-	-	1	施設	全国より多い(全国0.27:本県0.35)。
					0.27	0.35	0.43	-	-	0.52	(人口10万対)	
26	放射線治療を実施している医療機関数	病院(放射線治療病室「有」)	医療施設調査	H20	86	1	1	-	-	-	施設	・全国と本県全域で比較すると概ね整備されているが、中北医療圏に集中(他圏域にはない→現在は富士・東部医療圏(富士吉田市立病院)に整備済み。)
					0.07	0.12	0.21	-	-	-	(人口10万対)	
27	病院(放射線治療(体外照射)「有」)	医療施設調査	H20	733	4	3	-	-	1	施設		
				0.58	0.46	0.64	-	-	0.52	(人口10万対)		
28	病院(放射線治療(腔内・組織内照射)「有」)	医療施設調査	H20	162	1	1	-	-	-	施設		
				0.13	0.12	0.21	-	-	-	(人口10万対)		
29	病院(IMRT「有」)	医療施設調査	H20	108	-	-	-	-	-	施設		
				0.08	-	-	-	-	-	(人口10万対)		
30	外来化学療法を実施している医療機関数	一般診療所(外来化学療法「有」)	医療施設調査	H20	612	4	-	2	-	2	施設	
					0.48	0.46	-	1.37	-	1.03	(人口10万対)	

<巻末データ> 現状の分析【がん】

No.	指標名		調査名等	調査年	全国	山梨県	二次医療圏				単位	分析
							中北	峡東	峡南	富士・東部		
31		病院(外来化学療法室「有」)	医療施設調査	H20	1,376	7	4	1	1	1	施設 (人口10万対)	<p>・全県では概ね整備されているが、峡南医療圏には未整備。</p> <p>・全県で1箇所であり、病院数、病床数とも全国より少ない。</p> <p>・全県で1箇所の整備であり、全国より少ない(全国0.26:本県0.12)。</p> <p>・全国より少なく(全国1.19:本県1.16)、中北医療圏のみに在籍している。 ※がん診療連携拠点病院数には病理診断専門医が必置により、現在は富士・東部医療圏(富士吉田市立病院)にも在籍</p> <p>・全国より少なく(全国0.60:本県0.46)、峡東医療圏には未整備。</p>
					1.08	0.81	0.86	0.69	1.62	0.52		
32	外来化学療法加算1, 2の届出施設	診療報酬施設基準	H23	2,438	11	7	1	1	2	施設 (人口10万対)		
				1.92	1.28	1.50	0.69	1.68	1.05			
33	緩和ケアチームのある医療機関数	病院(緩和ケアチーム「有」)	医療施設調査(個票解析)	H20	612	4	2	1	-	1	施設 (人口10万対)	
					0.48	0.46	0.43	0.69	-	0.52		
34		緩和ケア診療加算の届出施設	診療報酬施設基準	H23	160	1	1	-	-	-	施設 (人口10万対)	
					0.13	0.12	0.21	-	-	-		
35	緩和ケア病棟を有する病院数・病床数	病院(緩和ケア病棟「有」)施設数	医療施設調査(個票解析)	H20	229	1	1	-	-	-	施設 (人口10万対)	
					0.18	0.12	0.21	-	-	-		
36		病院(緩和ケア病棟「有」)病床数	医療施設調査(個票解析)	H20	4,230	15	15	-	-	-	床 (人口10万対)	
					3.33	1.73	3.22	-	-	-		
37		緩和ケア病棟入院料の届出施設	診療報酬施設基準	H23	275	1	1	-	-	-	施設 (人口10万対)	
					0.22	0.12	0.21	-	-	-		
38	がんリハビリテーションを実施する医療機関数	がん患者リハビリテーション料の届出施設	診療報酬施設基準	H23	329	1	1	-	-	-	施設 (人口10万対)	
					0.26	0.12	0.21	-	-	-		
39	病理診断科医師数	主たる診療科を「病理診断科」と届出た医師	医師・歯科医師・薬剤師調査	H22	1,515	10	10	-	-	-	人 (人口10万対)	
					1.19	1.16	2.15	-	-	-		
40	がん患者に対してカウンセリングを実施している医療機関数	がん患者カウンセリング料の届出施設	診療報酬施設基準	H23	756	4	2	-	1	1	施設 (人口10万対)	
					0.60	0.46	0.43	-	1.68	0.52		

<巻末データ> 現状の分析【がん】

No.	指標名		調査名等	調査年	全国	山梨県	二次医療圏				単位	分析
							中北	峡東	峡南	富士・東部		
41	医療用麻薬の処方を行っている医療機関数	一般診療所(医療用麻薬の処方「有」)	医療施設調査(個票解析)	H20	7,824	67	30	12	13	12	施設	・病院、一般診療所とも全県、二次医療圏において全国より多い。
					6.16	7.73	6.44	8.23	21.12	6.19		
42		病院(医療用麻薬の処方「有」)	医療施設調査(個票解析)	H20	5,434	42	25	7	4	6	施設	
					4.28	4.84	5.37	4.80	6.50	3.10		
43	悪性腫瘍手術の実施件数	一般診療所「悪性腫瘍手術」の9月中の実施件数	医療施設調査	H20	1,142	2	1	-	-	1	件	・病院(全国34.63:本県25.72)、一般診療所(全国0.90:本県0.23)ともに全国より少なく、中北医療圏に集中し、他圏域(特に峡南医療圏)での実績が少ない。
					0.90	0.23	0.21	-	-	0.52		
44		病院「悪性腫瘍手術」の9月中の実施件数	医療施設調査	H20	44,010	223	168	19	7	29	件	
					34.63	25.72	36.05	13.04	11.37	14.96		
45	放射線治療の実施件数	病院「放射線治療(体外照射)」の9月中の患者数	医療施設調査	H20	207,982	1,965	1,934	-	-	31	人	・「体外照射」では全国より多く(全国163.67:本県226.61)、「腔内・組織内照射」では全国より少ない(全国0.91:本県0.69)。ともに中北医療圏に集中しており、他圏域では少ない。
					163.67	226.61	415.05	-	-	15.99		
46		病院「放射線治療(腔内・組織内照射)」の9月中の患者数	医療施設調査	H20	1,153	6	6	-	-	-	人	
					0.91	0.69	1.29	-	-	-		
47	外来化学療法の実施件数	一般診療所「外来化学療法」の9月中の実施件数	医療施設調査	H20	7,043	7	-	2	-	5	件	・病院(全国103.02:本県80.84)、一般診療所(全国5.54:本県0.81)ともに全国より少なく、中北医療圏に集中している一方、峡南医療圏、富士・東部医療圏では少ない。
					5.54	0.81	-	1.37	-	2.58		
48		病院「外来化学療法室」の9月中の取扱患者延数	医療施設調査	H20	130,916	701	654	43	4	-	人	
					103.02	80.84	140.35	29.50	6.50	-		
49	緩和ケアの実施件数	病院「緩和ケア病棟」の9月中の取扱患者延数	医療施設調査(個票解析)	H20	70,542	319	319	-	-	-	人	・病院における緩和ケア病棟の取扱患者延数(全国55.51:本県36.79)、ケアチームの患者延数(全国12.87:本県6.23)ともに全国より少なく、中北医療圏に集中している一方、他圏域では少ない。
					55.51	36.79	68.46	-	-	-		
50		病院「緩和ケアチーム」の9月中の患者数	医療施設調査(個票解析)	H20	16,349	54	50	2	-	2	人	
					12.87	6.23	10.73	1.37	-	1.03		
51	がんリハビリテーションの実施件数	がん患者リハビリテーション料の算定件数	NDB	H22(6箇月)	6,131	空白	空白	空白	空白	空白	件	・実績が極めて少ないか実績なし。

<巻末データ> 現状の分析【がん】

No.	指標名		調査名等	調査年	全国	山梨県	二次医療圏				単位	分析
							中北	峡東	峡南	富士・東部		
52	地域連携クリティカルパスに基づく診療計画策定等の実施件数	がん診療連携計画策定料の算定件数	NDB	H22 (6箇月)	1,933	空白	空白	空白	空白	空白	件	・実績が極めて少ないか実績なし。
53	地域連携クリティカルパスに基づく診療提供等の実施件数	がん治療連携指導料の算定件数	NDB	H22 (6箇月)	3,314	空白	空白	空白	空白	空白	件	・実績が極めて少ないか実績なし。
54	医療用麻薬の消費量	モルヒネ・オキシコドン・フェンタニルの消費量のモルヒネ換算合計／人口×千人	モルヒネ・オキシコドン・フェンタニルの都道府県別人口千人あたりの消費量(厚生労働省調べ)	H22	41.79	37.02					g／千人	・全国より少ない(全国41.79:本県37.02)。
55	末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数	在宅末期医療総合診療料届け出施設数	診療報酬施設基準	H23	11,372	47	32	9	1	5	施設 (人口10万対)	・全県(全国8.96:本県5.46)、二次医療圏(1.68~6.87)ともに全国を大きく下回る。
					8.96	5.46	6.87	6.24	1.68	2.62		
56	麻薬小売業免許取得薬局数	麻薬小売業の免許を取得している薬局数	麻薬・覚せい剤行政の概況	H22	36,013	256	156	38	9	53	施設 (人口10万対)	・全国より少なく(全国28.34:本県27.45)、二次医療圏では峡南医療圏が最も低い(14.62)。
					28.37	29.75	33.48	26.34	15.11	27.79		
57	がん患者の在宅死亡割合	在宅等でのがんによる死亡者数／がんによる死亡者数	人口動態統計	H22	9.2	9.8					%	・全国より高い(全国9.2:本県9.8)。

※ NDBは匿名化の原則に基づき「レセプト数10未満」又は「医療機関数が3未満」の場合は「空白」と表示している。

※ 「-」は0を表示している。